

華麗なるアメリカン・ギャング・エイジに訣れを告げる銃弾2560発!



Dillinger

ウォーレン・オーツ
ミシェル・フィリップス
ベン・ジョンソン

ジョン・ミリアス第1回監督作品

製作サミュエル・Z・アコフ

脚本ジョン・ミリアス

音楽バリー・デボゾン

AIP創立20周年記念作品

カラー作品/アメリカAIP作品

〈サントラ盤〉MCAレコード
現代映画提供/東和配給



かいせつ

アメリカ犯罪史上にその名も高き銀行ギャング、ジョン・デリンジャーの凄まじい生きざま死にざま、そして生涯唯一人の恋人ビリーとの愛を鮮烈な映像で描く話題の巨篇。

監督は、弱冠29才の新進ジョン・ミリアス。すでに「ダーティハリー」「ロイ・ベーン」などの名脚本家として知られているが、これが監督第1作。その全篇を彩る実録タッチの迫力と興奮は、アメリカ、ヨーロッパのマスコミははじめ若い世代を熱狂させ、「大器」ぶりを証明したが、特にこの映画のクライマックス、リトル・ボヘミアの銃撃シーンにみせたバイオレンスは「あのペキンパーをさえしのぐ」との評価を得ている。

また、この映画にみるファッション、クラシック・カー、音楽なども、折りからの1930年ブームのさなか、ヤングの間で人気急上昇中である。

出演陣は、デリンジャーに「夜の大捜査線」のウォーレン・オーツ、恋人ビリーに魅惑の新人「華麗なるギャツビー」のミシェル・フィリップス、アカデミー賞に輝く、「ゲッタウェイ」のベン・ジョンソンなど。

ものがたり

銀行に押し入るといきなり、「預金を全部おろしたい!」と凄味をきかせた憎いセリフをはいて、マシンガンをおっ放し、札束を奪って車で逃走する——これがジョン・デリンジャーの犯行手口だ。どんな組織とも、どんな大物とも決して組まないデリンジャーの仲間、ハリー、チャーリー、ホーマー、運転手エディ、そしてインディアン混血娘ビリーの総勢6人である。1933年、不況の嵐のさなか、中西部を縄張りとして荒しまわるデリンジャー一家を人々は好奇の眼をもって見ていた。

ちょうど同じ頃、FBIフーバー長官の忠実な部下で冷酷非情の捜査官メルビン・パービスは、異常なまでの執念を燃やして、大物ギャングたちを皆殺しにすべく追跡を試みていた。「マシンガン・ケリー、ウィルバー・アンダーヒル、ハンサム・ジャック・クルータス」などがまず血祭りにあげられた。デリンジャーもイースト・シカゴの銀行を襲った時、初めて警官を殺し、パービスに狙われるハメになった。

一方州警察も黙ってはいない。ツースンで愛するビリーと過しているデリンジャー

の不意を襲い、まんまと彼を逮捕した。大騒ぎするマスコミや警察に彼は挑戦するかのように脱獄を宣言、軍兵数百人の厳しい警戒のなかレイク刑務所を黒人殺人犯リードを従えて脱獄に成功した。

リトル・ボヘミアの新しい隠れ家には、ハリー、ホーマーの他、「プリティ・ボーイ」フロイド、「ベビーフェイス」ネルソンの両雄が待ち受けていた。揃いも揃って命知らずばかりである。マシンガンの腕と度胸を競うかのように再び暴れ始め、疾風さながら次々と銀行強盗を重ねるデリンジャー一家。だがやがて、そのツギに見放される時がやってきた。イリノイ州の銀行を襲った時、警官隊に囲まれ、銃撃戦の末、息もたえだえ隠れ家に逃げ帰った一家を待っていたのは、パービスの率いるFBI精鋭の浴びせかける数千発の銃弾だった。逃げきれぬ者は1人もいなかった。

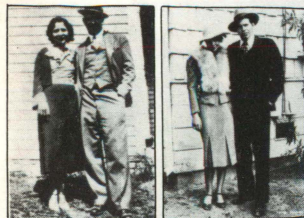
——1934年6月22日の夜、パービスたちはシカゴの映画館を取り囲んでいた。密告者アンナと連れだって出てくる男と女……まぎれもなくデリンジャーと愛人ビリーの姿だった。



次回ロードショー 丸の内東宝(211) 6088

ほか東宝拡大チェーン
にてロードショー

1930年の残酷な陽光の中 ギャングエイジ 最大のクライマックスがやってきた!



①デリンジャーと恋人ビリー



②ジョン・デリンジャー



③FBI鬼部長メルビン・パービス



④密告者アンナ・セージ



演出中の鬼オジョン・ミリアス(右)とカメラマン(中)とベン・ジョンソン(左)



ウォーレン・オーツ
ミシェル・フィリップス
ベン・ジョンソン
監督■ジョン・ミリアス
〈カラー作品〉



マシガンと札束と女をひとすじに愛した男・デリンジャー
ヤリ■衝撃の1930年代を完璧に再現して快感と興奮
を呼ぶ話題の超大作!



アメリカAIP作品 / 現代映画提供 / 東和配給

